

第16期

第2次募集期

一般陸曹候補生、自衛官候補生教育



大津駐屯地

宣誓する一般陸曹候補生（奥）と自衛官候補生（手前）



混成団長訓示



松山駐屯地

申告する一般陸曹候補生

中部方面混成団（団長
芝 伸彦 1等陸佐）は、
令和2年9月下旬から第

16期一般陸曹候補生
名、自衛官候補生男子
名、女子20名の新人隊員



第109教育大隊及び 第110教育大隊が教育を担当

に対する教育を大津駐屯地、松山駐屯地において実施中である。
令和3年1月上旬の修了式までの約3カ月間にわたり、自衛官としての基本・基礎の他、組織として任務を遂行するため必要な団体生活や規律ある行動を学んでいる。

かけはし



MACB
QRコード

【編集・発刊】

中部方面混成団
本部広報室

〒520-0002
滋賀県大津市
際川1-1-1

TEL.077-523-0034

【団長要望事項】

強くなれ

自衛官としての第一歩を踏み出した新入隊員たち



着隊～制服などの交付



武器貸与式



基本教練



体力検定

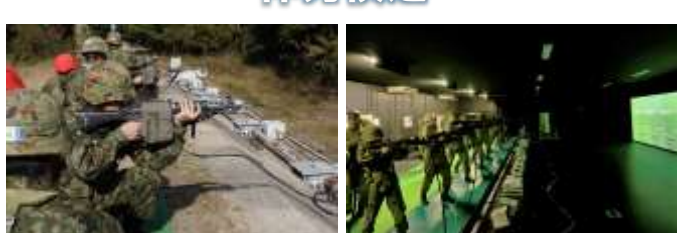


Photo Gallery

～着隊からこれまでを写真で紹介～



ガス体験



射撃訓練



徒步行進訓練



掩体構築訓練

歩哨訓練



天幕設営訓練

戦闘訓練



第47普通科連隊



式辞を述べる中隊長



中隊歌を斉唱



記念撮影

第47普通科連隊第1中隊（中隊長 岡村 和浩 3等陸佐（当時））は、令和

2年10月17日、善通寺駐屯地において、移駐10周年記念行事を実施し

第1中隊 善通寺駐屯地移駐10周年記念行事を実施

た。行事は今年で10周年を迎えたことを祝すとともに、隊員の帰属意識の高揚及び団結の強化を図る事を目的とし、第47普通科連隊長（佐藤1佐）、連隊OB会長（川端 博氏）、移駐当時の中隊長である第5代、第6代中隊長臨席の下、執行者式辞、来賓祝辞、連隊歌の斉唱、10周年記念ビデオの上映等が行われた。

第1中隊は、連隊（海田市駐屯地）から独立して善通寺に駐屯する中隊として任務を完遂できるよう日々精進していく。

第47普通科連隊（連隊長 佐藤 篤 1等陸佐）は、令和2年10月12日から16日までの間、山口県萩市むつみ演習場におい

て第1回分隊長集合訓練を実施した。本訓練は、初級陸曹9名に対し、分隊長としての実員指揮能力と状況判断

令和2年度分隊長集合訓練



戦闘指導する分隊長



敵情監視



無線での指揮

能力の向上を図る事を目的とし、分隊長令下達、命令の実行を具現化して戦闘するに、砂盤を用い戦闘予行を行い、分隊長に対し企画を徹底し問題点に対する処置と対策を確認したのち、一連の戦闘行動における実員指揮において交戦訓練用装置（バトラII）を使用した実戦的訓練により演練した。

訓練終了直後の研究会で参加者からは、「戦闘予行の重要性を理解した」、「敵の可能行動を詳細に見積もるの重要性を理解した。」などの発表があった。

連隊は、平素の訓練においても実員指揮能力向上の場と捉え、更なる練度向上を図っていく。



第49普通科連隊

令和2年度指揮所訓練センター訓練

Battle Command post Training Center



指揮所での活動



指揮官会議



システム操作するゲーマー



団長視察

第49普通科連隊（連隊長 関谷 拓郎 1等陸佐）は、令和2年11月5日から12日までの間、中部方面指揮所訓練センターにおいて、令和2年度指揮所訓練センター訓練を実施した。

訓練は指揮幕僚活動の能力向上を図る事を目的とし、主に情報資料に基づく火力と機動の連携、関係諸職種部隊との調整に基づく連携要領を演練するとともに、指揮官の状況判断と決心に基づく部隊の行動をシステムを活用してシミュレートし行われた。

訓練開始に先立ち連隊長は、「事前の見積りや作成した計画に固執することなく、判明した敵情等から戦機を看破することが任務達成に必要である。このため2点要望する。第1に戦闘指揮所に勤務する各幕僚は、相互に協力し、有機的な幕僚活動を実施せよ。第2に戦闘本部は、敵の企図を看破して適時に幕僚見積を実施し、これを破砕できる行動方針を案出できるように、継続的に戦況の推移を洞察し作戦の終始の推移を主動性を保持せよ。」と訓示した。

本訓練を通じ、指揮幕僚活動の能力向上と諸職種間の協同要領を更に向上させ、訓練は終了した。



第4陸曹教育隊

令和2年度各種課程教育を実施中



第4期最先任上級曹長課程

入校式



第137期初級陸曹特技課程

射撃野営訓練



第138期陸曹候補生課程(1次)

障害走記録会



第73期陸曹基礎英語課程

キャンプ富士での米海兵隊研修



第199期陸曹上級課程

命令下達を行う学生

第4陸曹教育隊(隊長 長谷部 浩司 2等陸佐)は、令和2年度の各種課程教育を実施中である。

11月13日から開始した第199期陸曹上級課程には152名が入校し、12月15日までの間、上級陸曹として必要な知識及び技能を修得する。

また、11月20日から開始した第4期最先任上級曹長課程には22名が入校し、令和3年2月15日までの間、連・大隊等の最先任上級曹長として必要な資質を養うとともに、当該職務遂行の基礎となる知識及び技能を修得する。

そのほか第138期陸曹候補生課程(1次)や第137期初級陸曹特技課程は12月22日まで教育を行い、第73期陸曹基礎英語課程は11月18日に教育を終了し、原隊において活躍中である。

中部方面総監感謝状伝達

永年にわたる御尽力に感謝をこめて



感謝状伝達式



記念撮影

駐屯地司令は、令和2年10月13日に大津自衛隊協力会長 山下 英利氏に対して中部方面総監感謝状を伝達しました。

感謝状は、方面隊創設60周年記念に際し、永年にわたり防衛思想の普及と防衛基盤の育成に尽力された功績に対して贈られました。

また、同協力会事務局次長の川口 義明氏は第3師団長より感謝状を贈呈されています。

着任部隊長紹介



大津駐屯地業務隊長

2等陸佐

廣

ひろ

巖

たかし

昭和43年生れ

出身：広島県

略 歴

第10高射特科大隊 中隊長	(豊 川)
第7高射特科群 中隊長	(竹 松)
陸上幕僚監部装備部	(市ヶ谷)
高射学校第1教育部 教務班長	(下志津)
第2高射特科群 第3科長	(松 戸)
幹部学校企画室 計画幹部	(目 黒)
第1高射特科団 第3科長	(東千歳)
高射学校 企画副室長	(下志津)